



1分間のペットボトル浮き世界記録に挑戦する参加者

全国一斉に世界記録挑戦

■ギネスに挑戦！1分間ペットボトル浮きチャレンジ

7月23日、相良B&G海洋センターで「ギネスに挑戦！1分間ペットボトル浮きチャレンジ」が行われ、小学生以上の男女19人が参加しました。

このチャレンジは、水に親しみながら防災を考えてもらおうと、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が一昨年企画。今年全国84カ所で開催され、世界記録の250人超えを目指し、午後2時に一斉にスタートしました。

この結果は、全国の各会場で集計した後、ギネスの公式認定員により審査されます。

楽しいおしごとみつけた！

■どきどき未来キッズ ～ぼくのわたしのおしごとさがし～

牧之原市商工会青年部の10周年記念事業「どきどき未来キッズ～ぼくのわたしのおしごとさがし～」が7月9日、富士山静岡空港の西側多目的広場駐車場で開催されました。

会場では大工職人や美容師、モノづくり職人などの子ども向けワークショップ体験が行われました。また、パトカーや高所作業車などの働く自動車の展示や飲食販売、キッズダンサーのパフォーマンスなども行われ、市内外から訪れた家族連れなどでにぎわいました。



ヘッドマネキンを使って三つ編みに挑戦

純白で優雅な「海の貴婦人」

■大型練習帆船「海王丸」寄港

独立行政法人航海訓練所の大型練習帆船「海王丸」が、7月28日から8月1日まで御前崎港に寄港しました。

海王丸は、純白の船体と帆を広げた優雅な姿から「海の貴婦人」と呼ばれ、世界中の人々から親しまれています。

停泊中には、セイルドリル披露や船内の一般公開、夜間のライトアップなどが行われました。

訪れた人たちは、帆船の大きさに驚きながら写真を撮るなど楽しみました。



船員のセイルドリルにより帆が張られた海王丸



オープンしたばかりのプールを楽しむ子どもたち

冷たいプール気持ちいい

■シーサイドプール地頭方開設式

7月28日、シーサイドプール地頭方の開設式が行われ、8月26日までの営業期間中、事故なく安全に楽しく泳ぎ遊ぶことを祈願しました。

開設式後、オープンを待ちに待った多くの子どもたちが一斉にプールの中へ。流れるプールを泳いだり浮き輪で漂ったりなどしていました。また、水しぶきを上げながらウォーターライダーを勢いよく滑り下っていました。

子どもたちは「気持ちいい」「楽しい」と満面の笑顔で夏のプールを楽しみました。



記念セレモニーでくす玉を割り来館者300万人達成を祝う

これからもずっと温泉を楽しもう

■さがら子生れ温泉会館 来館者300万人達成

さがら子生れ温泉会館は7月23日、累計来館者300万人を達成し、館内ホールで記念セレモニーが行われました。

「子授けの湯・安産の湯・長寿の湯」とされる子生れ温泉は年間約25万人が訪れ、源泉湯のみを使用した、ナトリウム（塩化物温泉）の泉質である温泉を楽しめます。

300万人目の来館者となった本杉さん（吉田町）は、「温泉は10回ほど利用しています。お湯の温度は低めですが、長湯ができて体が温まります。これからも通いたいです」と話しました。

セレモニー後には、地域住民の皆さんが地元の竹林を使用して作った灯ろうの点灯式も行われました。

みんなの願いが叶いますように

■七夕のつどい

勝間田保育園の七夕のつどいが7月7日に行われ、全園児72人が参加しました。

つどいでは、先生たちによる寸劇を見て、七夕の由来について学びました。

今年も園児らがお父さんやお母さんと一緒に作った、織姫と彦星や星、スイカなどといった色鮮やかな飾りが笹に飾り付けられました。

また、この日の給食には、七夕にちなんだお寿司や星のハンバーグなどが出され、園児たちは一日七夕を楽しみました。



学んだおいしいお茶の入れ方を実践する児童

お茶の奥深さを五感で楽しむ

■第12回一番茶品評会

市指定農業者協議会茶業部の一番茶品評会が7月5日、就業改善センターで開催されました。

市内協議会員茶工場や個人から78点の一番茶（やぶきた）が出品され、香気や色味、滋味、茶葉の外観の4点について審査。最優秀賞には、高塚勝之さん（菅山区）のお茶が選ばれました。

一般公開された品評会では、市内小学校の3年生265人が見学に訪れました。また、お茶教室も開催され、お茶の種類や入れ方などをクイズ形式で学びました。



先生による寸劇で七夕の由来を楽しく学んだ園児



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp